

本事業は、「平成28年度 相模原市地域活性化事業交付金事業」です。

事業報告書



主催／ミニさがみはら研究会

共催／スマイル ミニシティ プロジェクト

後援／相模原市 相模原市教育委員会 相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会

協賛／株式会社 ニイヤ

もくじ

1. こども店長会議
2. こどもまちづくりワークショップ
3. 前日準備 レイアウト図
4. イベント当日
5. たなっちょタウンのアイテム
6. まちにつくられた施設やお店
7. 参加したこどもたちの意見

初めて顔を合わせる田名地域から集まったこども店長たち



こども店長たちで田名のまちについてワークショップ形式で意見を出し合う



みんなで説明をみて、準備開始！



こども店長会議

2017年1月15日(日) 9時から12時
たなっちょタウンベース

公募で集まったこども運営委員 20 名で内容について話し合う会議を行う。

まちのデザインを作ったり、物価を決め、それぞれやりたいお店を選んだり、お店の内容、まちの物価、まちのルールなどをこどもたちで決めていく。

商店街として、お店同士のつながりをつくるためサービス券やスタンプラリーなどのサービス内容も盛り込んでいき、「公共公益施設」「工房施設」「食品製造施設」「食品販売施設」「エンタメ提供施設」「販売施設」「サービス提供施設」に分かれて話し合いを進める。今年は公共機関をやりたい子がすぐに決まった。

こどもまちづくり

◆田名地域のお祭り（花火、鯉のぼり）について、どう思う？ （過去から続いている地域のイベントについての評価）

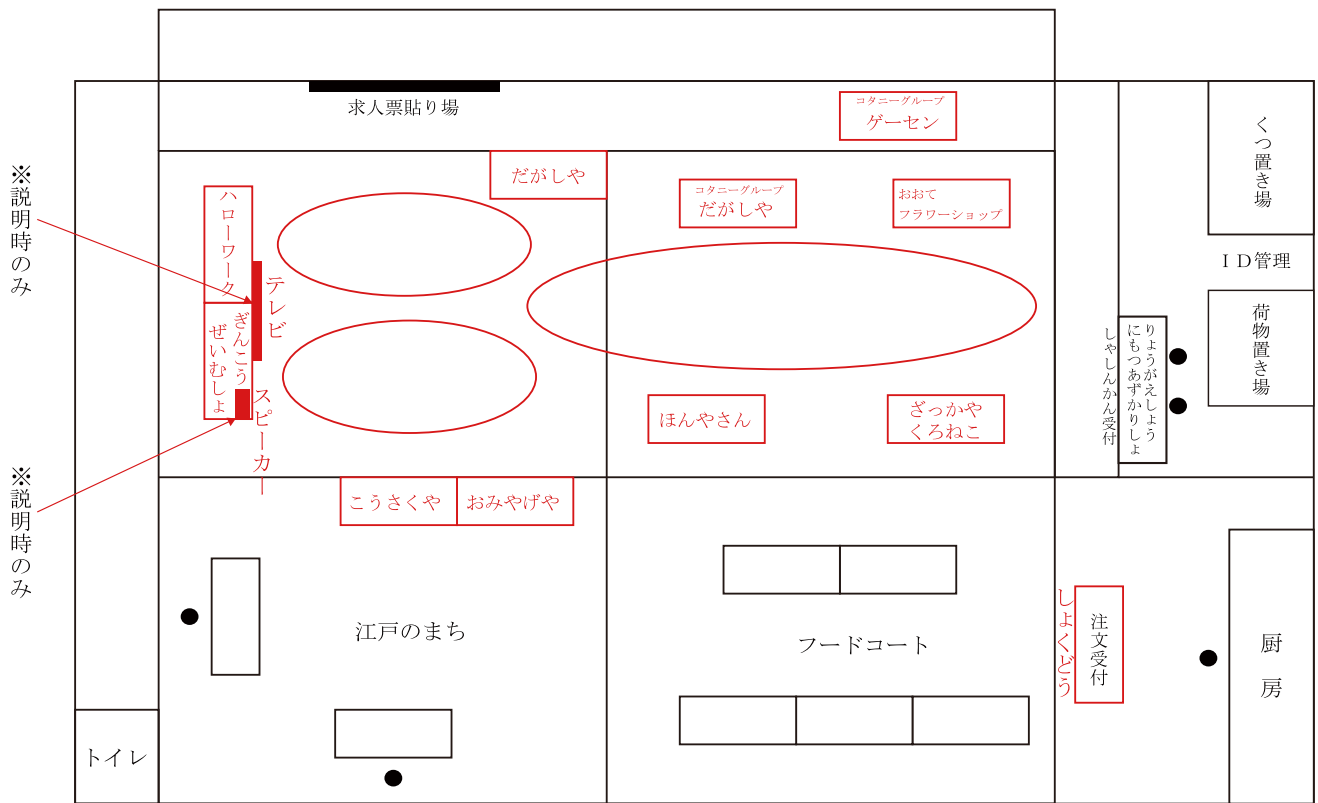
- ・つづいてほしいです。理由は、このぼりがきれいだから。
- ・つづいてほしいです。なぜなら田名のでんとうのイベントだからです。
- ・つづいてほしい。花火はおてもキレイだし、こいのぼりは昔からやっているからつづいてほしい。
- ・YES。昔から続いているから。
- ・つづいてほしい。ずっと前からやっていたことだから、これからもつづいてほしい。
- ・つづいてほしい。昔からのでんとうぎょうじだからずっとつづいてほしい。
- ・つづいてほしい。花火がすごくきれいだから。
- ・つづいてほしいです！なくなるとさびしいのであってほしいです。
- ・つづいてほしい！花火は年に1回だから。こいのぼりも年に1回だから。
- ・つづけてほしいです。どうしてかというとはなびたいかいは、はなびがきれいだしこいのぼりもきれいだからです。
- ・YES 伝統を守りたい。
- ・花火大会もこいのぼりも、どちらもつづけてほしいです。
どっちも田名地域の人がつくったでんとうなのでつくった人は天国で見てると思うからまだまだつづいてほしいです。
- ・こいのぼりつづいてほしい。こいのぼりがきれいだから。
- ・つづいてほしいです。なぜかという、すぐちかくで見るのがたのしいからです。
- ・つづいてほしいです。どうしてかという、イベントがあると楽しくられるから！
- ・楽しいから。
- ・たのしいから。きれいだから。
- ・たのしいから。コレしかないでしょ。
- ・つづいてほしいです。そのわけは、おいしいものとかが出てくるからです。
- ・どっちもつづいてほしいですたいせつだからです

◆みんなが住んでる地域で、コレをやったらおもしろい！をおしえてください。 （地域の新しいイベントについての提案<シーズ>）

- ・おもちつき！おいしいおもちをみんなで食べたい。（イラスト）
- ・わたしはビンゴ大会をやってほしいです。けいひんがもらえるからです。
- ・お正月のカウントダウンをしたい！友達とお正月をむかえられるから。
- ・お正月のカウントダウンをしてほしい。友達とお正月をむかえられるから。
- ・カウントダウン。どうしてかという年のおわりにやると『がんばったな〜』というのがわかる。
- ・ミニ水ぞくかん。水ぞくかんとかだったらじしゅべんきょうとかかんたんにできそう
- ・ビンゴ大会。けいひんできてくれる人が増えると思うから。
- ・ちいきみんなでじっけんイベントをやってみたいです。どうしてかというじっけんがすきだからです。
- ・ちいきのみなさんと山のぼりをやりたい。<なぜなら>みんなとなかよくしたい。山のぼりのイベント。 ふじ山。
- ・田名ぜんいんに田名っちょタウンのチラシをくぼってあげたいです。みんながお店をやったのしめるからです。
- ・もちつき大会。理由はお正月に食べるもちをみんなでつくると楽しそうだから。
- ・オリンピックなど。（顔文字ショボーン）
- ・たこあげ大会。お正月にたこあげをする人が少ないから。
- ・田名カプセル。田名博覧会。（市のし金で）
- ・ぢぶんのすきなのをできるまつり。
- ・ロケットランチャーを年に10000000000かいとばしてほしいです。そのわけはもり上がるためです。

たなっちょタウン 2016 レイアウト図

受付



※黒四角は江戸のお店。赤四角はこどものまちのお店。
 ※●は大人の配置。
 ※赤い部分はオープニングでの説明時の配置・赤丸はこどもたちの集合体系



前日準備

2017年 1月21日(土) 13時から17時
たなっちょタウンベース

田名のこどもがつくるまちの施設を準備する。午後1時からこども店長を中心に地域の大人、大人スタッフと共に準備する。色画用紙や模造紙、色紙、テープ類やのり類、カラーペンなどの素材を使ってこどもたちの自由な発想で看板やメニューなどを作り込んでいく。前日購入するものを地域のお店などへ購入に向かう。



イベント当日

2017年1月22日(日) 10時から15時
たなっちょタウンベース

田名のこどもがつくるまち開催。事前に「市民証」「こども市民案内」「保護者宛」を抽選で当たったこどもたちへ郵送した。こどものまち受付では、市民証に記載されている市民ID番号のバーコードで本人確認のチェックをし入場する。オープニングでは全員でこどものまちの遊び方を学ぶ。昨年度市長に当選したこどもが司会進行する。その後は、こどもたちそれぞれの行動になる。働くこども、持っているお金でまちで楽しむこども、何をしようか悩むこども。ほとんどのこどもは求人票からやりたい仕事を探し、ハローワーク(職業紹介所)へと並んだ。大行列となったハローワークでは仕事の手配に大忙しである。



フィナーレでこどものまちの話し合いを全員で行った。

最後にこどものまちをつくったすべてのこどもたちで集合写真を撮った。

市民参加のこどもたちを見送りゴミの分別やすべての片付け、清掃まで、こどもたちで行う。

イベント当日

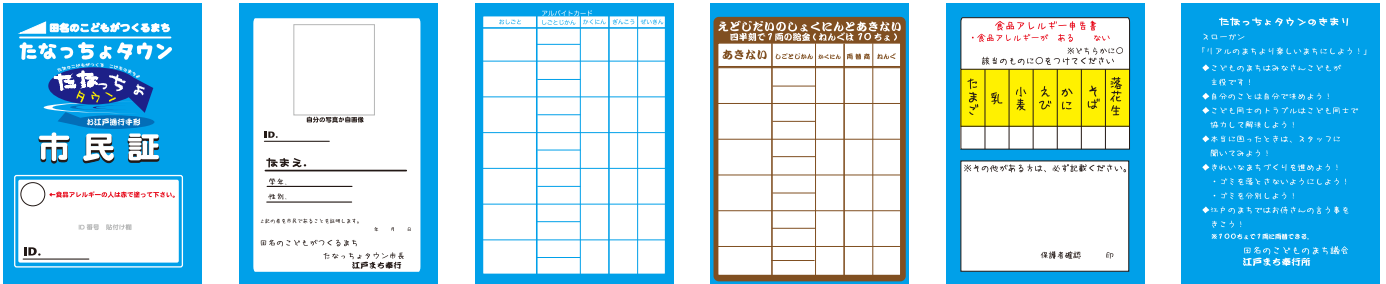
2017年1月22日(日) 10時から15時
たなっちょタウンベース

ジョブカードを手に入れたこどもたちはそれぞれの職場へと向かう。そこでこども店長が仕事内容を説明し、30分間の仕事をやる。仕事を終わると「銀行」で給料をもらって「税務署」で所得税を納めた。今年が高齢者グループによる「江戸のまち」を設置している。小判が通貨となっている。江戸のまちでは手を使ったものづくりの場の工房で30分働くと3両の給金がもらえる。小判を手に入れたこどもたちは江戸で働く。そして給料をもらったこどもたちは、まちで遊び始める。フィナーレでは、長者番付表彰の発表と今後のこどものまちのワークショップを行い記念撮影をした。

市民証

Design by WebCreators Fairytale

表紙 子ども市民証明書 アルバイトカード 江戸のまち仕事札 食品アレルギー申告書 まちのきまり



通貨 (ミドル)

Design by こどもたち

10ちょ札

50ちょ札

100ちょ札



JOB カード

Design by こどもたち



長者番付賞品

Design by WebCreators Fairytale



まちの施設

公共公益機関

1	ハローワーク
2	銀行
3	税務署

飲食店

4	食堂
---	----

販売・エンタメ店

5	雑貨屋くろねこ
6	本屋
7	アクセサリーショップ
8	大手フラワーショップ
9	駄菓子屋
10	ゲーム屋(コタニーグループ)
11	駄菓子屋(コタニーグループ)
12	工作屋
13	おみやげや

大人のお店

14	荷物預り・両替商・写真館
15	江戸の職人町(ものづくり)

参加者の意見

- ◆ たなっちょタウンは楽しかった？（挙手）
→65名
- ◆ どんなところが楽しかったですか？（発言）
 - ・アルバイトするところ！
 - ・ゼー——んぶ！！
 - ・全部楽しかった！全部！
 - ・江戸の町があるところ。
 - ・江戸の町があるから。ワンちゃんがいるから。
 - ・友達と買い物（準備物）にまわられたこと。
 - ・お金とか、小判とかも買えるからいい。
 - ・写真撮影（コスプレ写真館）があって、江戸のまちもわかったから。
 - ・江戸時代にも行ってウサギや犬をつくったこと。
 - ・暗殺教室の本を買った。
 - ・去年も楽しかったけど、今年はどうやって売るか、働いたり、稼いだお金をどう使うかいろいろ考えた。
 - ・食堂でお客さんがバンバンくるところ。大変だったけどうれしかった。
 - ・本がすぐ売れてよかった。
 - ・だがしやが2つあって、向こうが高いやつを安く売って儲けたり、売り方をいろいろ工夫したりした。
 - ・ビンゴで1番最初にできたのがよかった。
 - ・ハローワークは最初二人でやってたときは人がいっぱい来て忙しいけど、ヒマな時は友達と買い物に行ったりバイトに来た人とお話できるのがいいと思った。
 - ・作るやつが大変だったけど、お客さんを呼ぶのに大声を出したりして楽しかった
 - ・作る方が楽しかった。
 - ・はじめてアルバイトしたけど、大変だった。
- ◆ たなっちょタウンを続けたい？（挙手）
 - ・またたなっちょタウンをやりたい人 → 65名
 - ・次回は店長をやりたい人 → 59名
 - ・次回はお客さんをやりたい人 → 6名
- ◆ 自由意見
 - ・子どもまつりより楽しい！（理由は？）だって自分たちで全部出来るから。
 - ・たなっちょタウンを田名で続けて欲しいから仲間を増やす！
またやりたいから、大人に協力してほしい。やり方を教えて欲しい。



2017年1月22日 会場：たなっちょタウンベース

2017年1月発行

田名のこどものまち事業報告書

さがみはら 田名のこどもがつくるまち **たなっちょタウン 2016**

本事業は、平成28年度「相模原市地域活性化事業交付金」です。

主催：ミニさがみはら研究会

共催：スマイル ミニシティ プロジェクト

後援：相模原市 相模原市教育委員会 相模原市小中学校 PTA 連絡協議会

協賛：株式会社 ニヤ

著作・発行／スマイル ミニシティ プロジェクト

※本書の無断複写（コピー）は、著作権法上の例外を除き、著作権侵害となります。

活動のための寄付のご協力をお願いします。*1000円／冊